

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画に基づく事業)

令和 7年 1月 22日

協議会名: 土佐清水市地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
(有)足摺交通	立石～下ノ加江市民センター ～下浦バス停～市街地(33.9キ ロ)	〈前回の評価結果の概要〉 運行便数や利用者数といった 目標値は達成されている。今後 は地域のニーズを把握しつつ、 引き続き広報活動に努め、新 たな交通計画の施策を実施し ていく。 〈評価結果の反映状況〉 広報紙やホームページ掲載、 地域への訪問等の周知活動の 実施、交通利便性向上のため のアンケート調査の実施、交通 空白地に新たなデマンド路線を 設定し、運行を行った。	A 計画通り事業は適切に実施 された。	C 〈下ノ加江地区〉82.7% 【目標達成率】 (目標:58便/月、実績:48便/月) 【利用者数】890人 (前年比76.7%、前々年比92.9%) (目標:87人/月、実績:74人) 【1便あたり利用者数】 約1.5人 【運行収入】331,950円 (前年比:77.3%、前々年比:94.9%) 【収支率】4.9%(前年比:0.1%増、前々年比: 0.4%増) 目標を下回った要因としては、新規の乗客が 増えていないこと、一部の乗客が福祉タクシー の利用に変更していることなどが考えられる。 また小学校統合や卒業により、途中から学生 利用がなくなったことも要因の一つである。	利用が少ない地域へ訪問し、 デマンドの紹介や公共交通に ついての意見を収集する。広報 紙の掲載回数や内容など、周 知方法を再検討し、新たな乗客 利用につながる取組を行う。
(有)龍串見残観光ハイ ヤー	有永～下川口市民センター～ 下川口漁協前バス停～市街地 (47.4キロ)	〈前回の評価結果の概要〉 運行便数や利用者数といった 目標値は達成されている。今後 は地域のニーズを把握しつつ、 引き続き広報活動に努め、新 たな交通計画の施策を実施し ていく。 〈評価結果の反映状況〉 広報紙やホームページ掲載、 地域への訪問等の周知活動の 実施、交通利便性向上のため のアンケート調査の実施を行っ た。また事業者の工夫等もあ り、目標の達成につながった。	A 計画通り事業は適切に実施 された。	A (下川口地区) 【目標達成率】102.8% (目標:107便/月、実績:110便/月) 【利用者数】3,469人 (前年比:107.3%、前々年比:119.9%) (目標:97人/月、実績:289人/月) 【1便あたりの利用者数】 約2.6人 【運行収入】1,216,850円 (前年比:97.6%、前々年比:109.3%) 【収支率】5.5%(前年比:0.8%減、前々年比: 0.3%減) 運行便数、利用人数が前年度よりも増加し、 目標達成となった。	引き続き、ホームページや広報 誌での周知、地域のサロンで の周知活動を実施する。新たな 交通計画の施策を、現状把握 をしつつ実施していく。
(有)龍串見残観光ハイ ヤー	三崎バス停～上野・斧積～三 崎バス停(13.8キロ)	〈前回の評価結果の概要〉 運行便数や利用者数といった 目標値は達成されている。今後 は地域のニーズを把握しつつ、 引き続き広報活動に努め、新 たな交通計画の施策を実施し ていく。 〈評価結果の反映状況〉 広報紙やホームページ掲載、 地域への訪問等の周知活動の 実施、交通利便性向上のため のアンケート調査の実施を行っ た。	A 計画通り事業は適切に実施 された。	C (三崎地区) 【目標達成率】75.4% (目標:53便/月、実績:40便/月) 【利用者数】679人 (前年比:73.9%、前々年比:73.5%) (目標:79人/月、実績:56人) 【1便あたり利用者数】 約1.4人 【運行収入】52,650円 (前年比:72.5%、前々年比:75.1%) 【収支率】0.2%(前年比:0.1%減、前々年比: 0.1%減) 目標値を下回った要因としては、利用者の高 齢化により入院や死亡があること、買い物配 達サービスや移動販売の利用者が増加する など、買い物の足としての利用が減少したこと などが考えられる。	利用が少ない地域へ訪問し、 デマンドの紹介や公共交通に ついての意見を収集する。広報 紙の掲載回数や内容など、周 知方法を再検討し、新たな乗客 利用につながる取組を行う。